

船通山 宣揚祭の様子

平成 27 年 7 月 28 日、鳥取県日南町と島根県奥出雲町にまたがる船通山(1143m)の山麓、日南町上萩山地区のつぎ会館において第 48 回宣揚祭が行われました。

例年通り、山頂にて計画されていた神事ですが、当日の悪天候の為に会場が変更となりました。会場には両町住民の他、松江市などからも 150 人以上が訪れ、クライマックスとなる神楽舞ではスサノオノミコトが船通山に降り立った場面を演じ、観客を魅了していました。

会場の設営・運営には、地元上萩山地区の住民の他、多里地区周辺の方や日南町役場の職員も応援に駆け付けました。日南町で農業や林業を行っている I・J・U ターンの若い人達の協力もあり、祭りを支えていました。山間の集落は大きく賑わいました。(NPO職員もスタッフとして参加いたしました)



日南町 松ヶ谷の町有林にて 日通の森植樹事業が行われました

鳥取県では県内の森林フィールドに企業やNPO民間団体の環境貢献、社会貢献活動の取り組みを呼び込む「とっとり共生の森」を制度化しています。これは、伐採跡地など植栽が可能な森林や、間伐などの保育管理が必要な森林を提供し、企業などが主体的に植栽樹種を選定し、保育・管理するものです。参画企業にとっては環境貢献やCSR活動の実践的な場ともなり、林業事業体にとっては雇用創出や地域の活性化につながります。

日南町では日本通運が2009年からこの制度に賛同し、年に2回のペースで従業員とその家族が森林組合などの協力を得て、下草刈りや間伐、植栽などを実施しています。今年も7月4日と5日の2日間、全国から約 40 名が参加し、松ヶ谷地区の約3.7haの町有林で森林育成活動を行いました。夜はヒメボタルを観賞するなど、地域交流やレクリエーションの要素も盛り込み、子供たちは日南町の自然の中で森林の大切さや生物多様性の重要性を学ぶ場にもなりました。(日南町農林課より寄稿・情報を頂きました)



普段都市部で生活をする方にも、中山間地で生活し、林業に携わっている人がいること。その事が都市部での水環境などに密接にかかわっている事を知って貰える機会となりました。